

施工業者様用

〈施工説明書〉

天井ジャストアウトセット引戸専用枠材
(両側ソフトクローズ)

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル

0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

GK-TW

上吊り ドレタス

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・上吊レールの固定はインパクトドライバーを使用しない。
上吊レールの固定に際し、インパクトドライバーを使用すると下地材に割れが発生したり、ビスが空回りしてレールや扉が落下する危険があります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。

・吊車・レール等は消耗製部品。

引戸用吊車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお勧めします。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・ほこりやゴミが付着しないようにする。

レール、吊車にほこりやゴミなどが付着すると、引き込み速度の低下や閉じきらないことがありますので吊車にほこりやゴミが付着しないよう配慮ください。

・レールの水平を確認する。

レールの傾きにより、引き込み速度の低下や閉じきらないことがありますので、レールが水平になるよう施工ください。留意点:不陸は1mあたり3mm以下でお願いします。

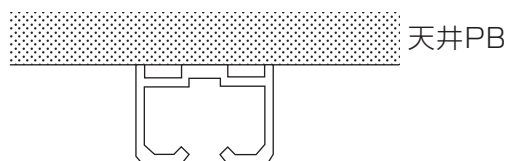
・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

■天井下レール取り付けタイプ



梱包内容表

梱包を開いたら、部材の数量に不足がないか、商品にキズや破損などがないかを確認してください。

姿図	部材名	数量
	上吊レール	1本
	金具セット	
	吊車	1セット
	クローザー本体(吊車セット)	1セット
	トリガーセット(ビス2本セット)	2セット
	振れ止め金具(床付用)	1個
	上レール取り付けビス(皿ビス)	6本
	エンドキャップ(ビス1本セット)	2個
	床取り付けストッパー(ビス3本セット)	2セット

別売品

	出隅材	2本
--	-----	----

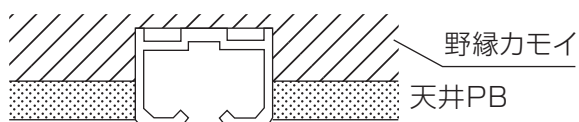
別売品 ※間仕切り錠を使用する場合のみ

	間仕切り用縦枠	1本
同梱品	躯体接合ビス	4本
	クッションキャップ	4本

出隅材	
間仕切り用縦枠	

3ページに進んでください。

■天井下レール取り付けタイプ(ワズキューボ1,500セレクション標準)



梱包内容表

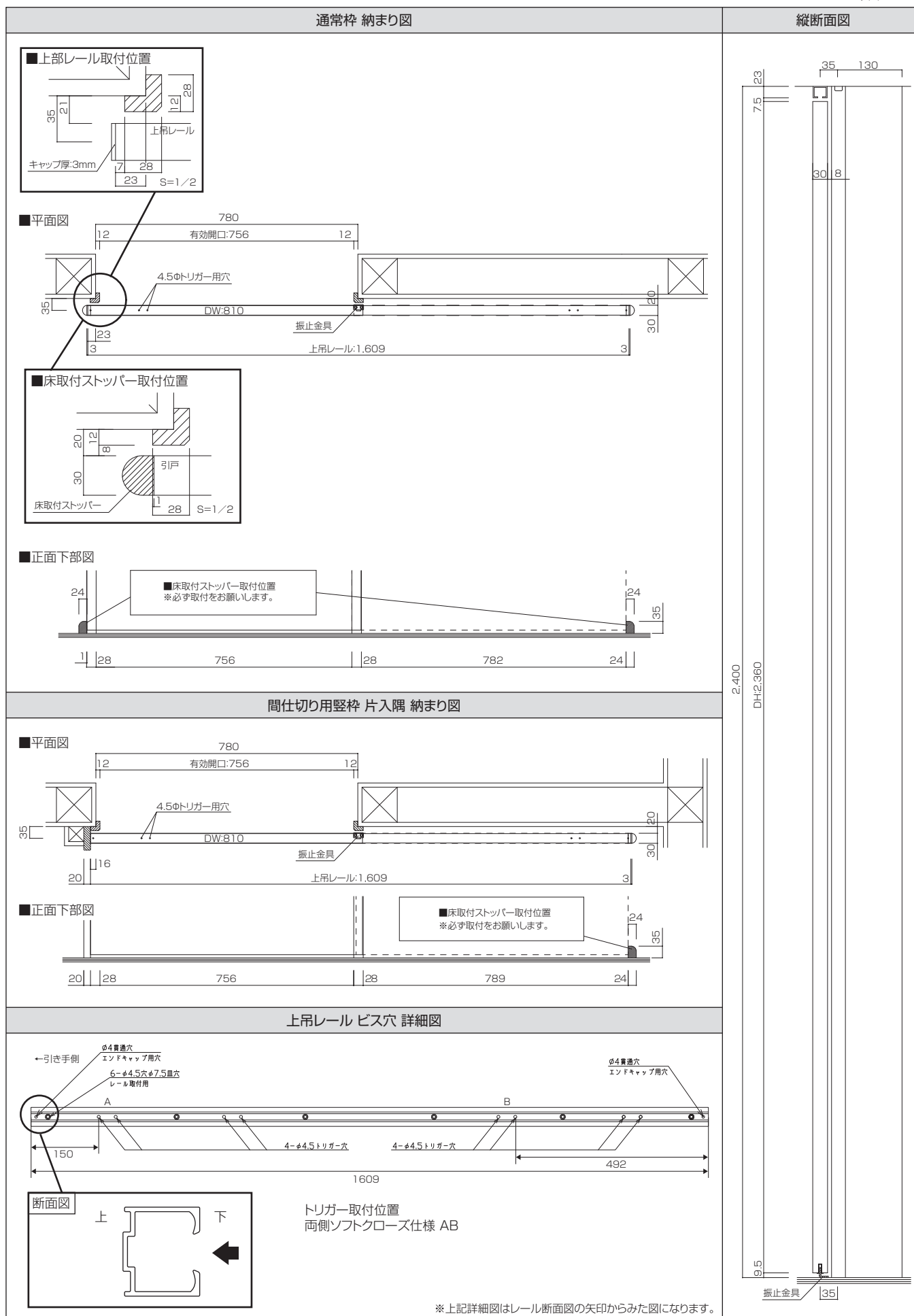
梱包を開いたら、部材の数量に不足がないか、商品にキズや破損などがないかを確認してください。

姿図	部材名	数量
	上吊レール	1本
	金具セット	
	吊車	1セット
	クローザー本体(吊車セット)	1セット
	トリガーセット(ビス2本セット)	2セット
	振れ止め金具(床付用)	1個
	上レール取り付けビス(皿ビス)	6本
	エンドキャップ(ビス1本セット)	2個
	床取り付けストッパー(ビス3本セット)	2セット

8ページに進んでください。

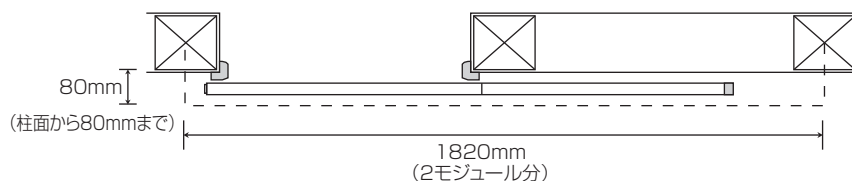
天井下レール取り付けタイプ 納まり図

(単位:mm)



天井下レール取り付けタイプ 施工手順

① 取り付け位置の下地補強

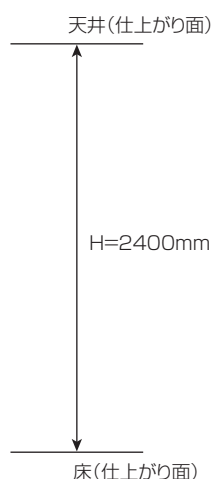


⚠ 注意

天井下地の補強が不十分だと、扉・上吊レールが脱落・転倒するおそれがありますので必ず十分な補強をおこなってください。

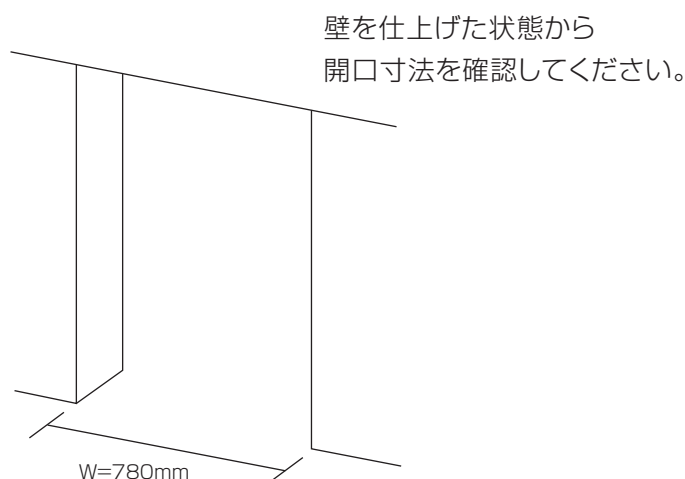
アウトセットの扉を取り付ける位置側の天井裏の補強を行ってください。

② 間口寸法の確認



⚠ 注意

扉の高さがH=2360mmになります。天井高がH=2400mmになるように仕上げてください。



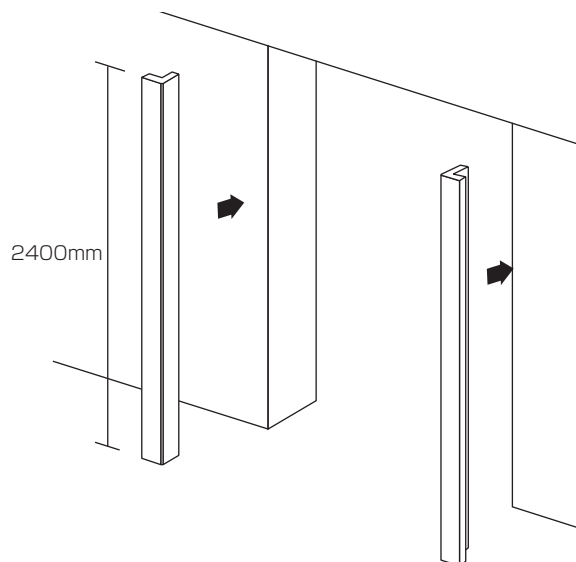
⚠ 注意

開口寸法(壁が仕上がった状態)がW=780mmになります。レール取り付けには2モジュール(W=1820mm)必要になります。

③ 出隅材の取り付け

出隅材を開口部のコーナーへ取り付けます。

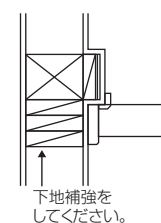
※出隅材を取り付けるのは、扉が通る側のコーナー部分です。



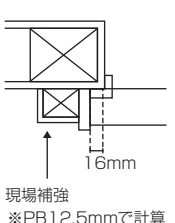
縦枠を取り付ける場合

※詳しくは納まり図をご確認ください。

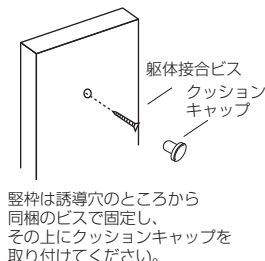
縦枠側が入隅の場合



縦枠側に壁がない場合



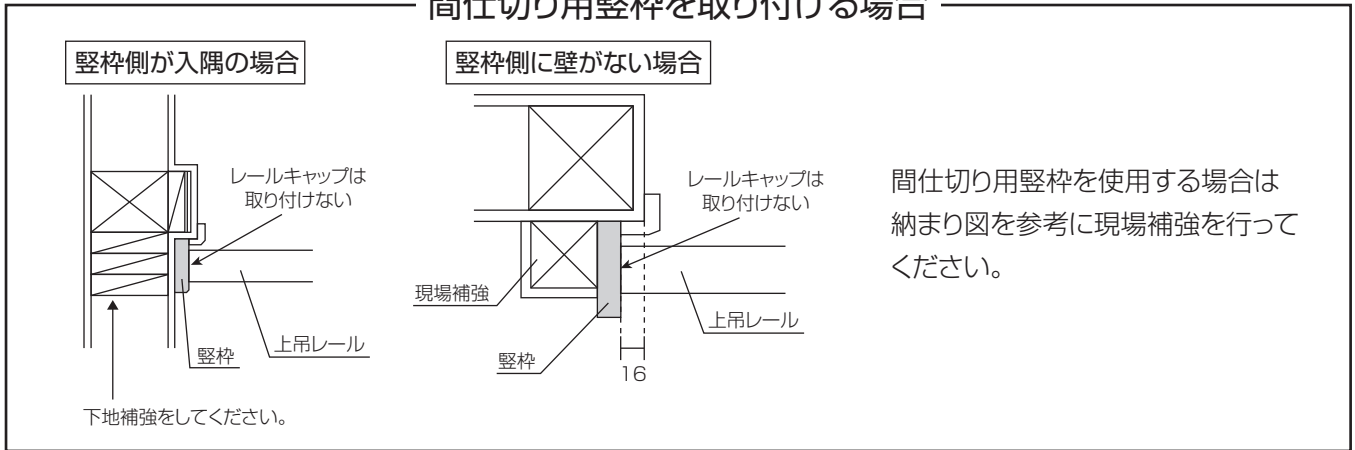
縦枠を使用する場合は
納まり図を参考に
取り付けてください。



⚠ 注意

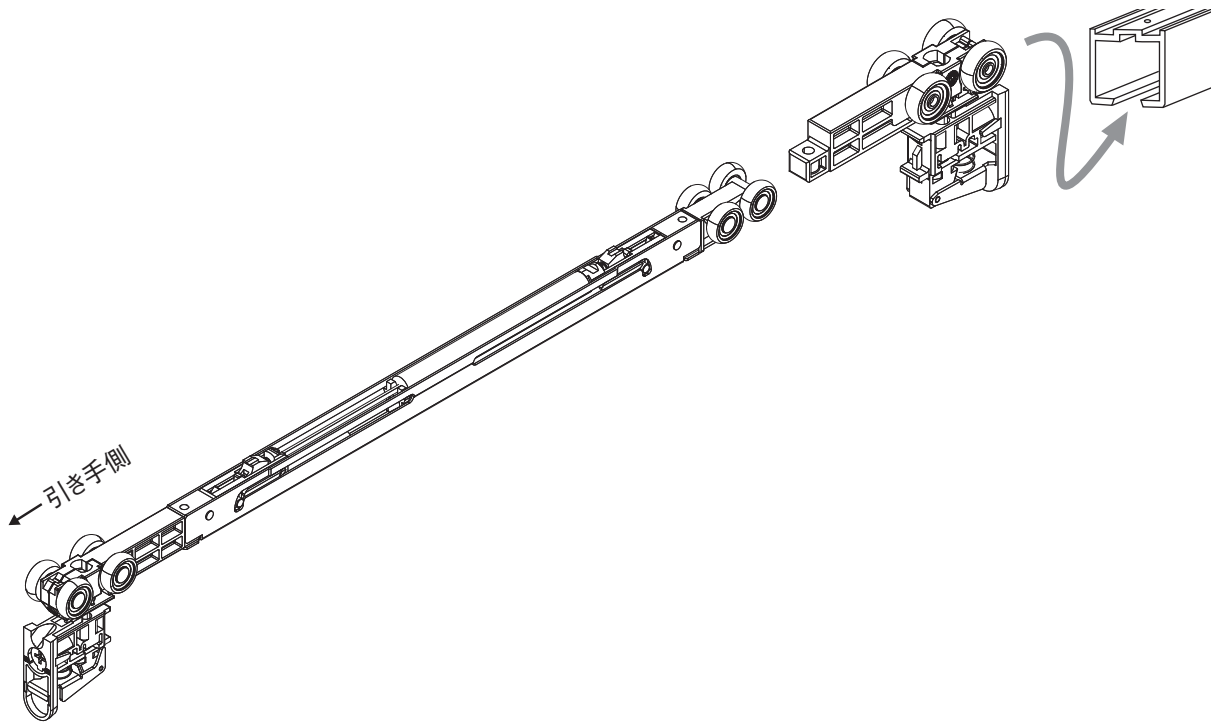
縦枠をカットする際は、必ず上側からカットしてください。
下側からカットすると、錠受けの位置が合わなくなります。

間仕切り用縦枠を取り付ける場合



④ 吊車の挿入

上吊レールに吊車を挿入してください。吊車は図のように向かい合わせてレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないので注意してください。



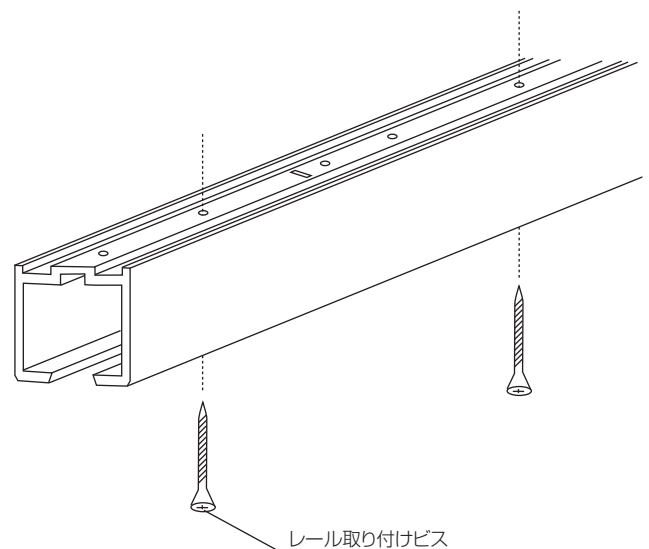
⑤ 上吊レールの固定

縦枠取り付け後、天井のクロスを仕上げた後に、上吊レールを天井に取り付けます。

4ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参照し、 $\phi 5.5$ レール固定用のビス穴に同梱の取り付けビスで6ヵ所確実に固定させてください。
※ビス穴を取り付ける前に下穴をあけておいてください。

⚠ 注意

- ・レール取り付けビスを打ち込む場所にはビスがきちんと効くように、下地の補強を確実にしておいてください。
- ・吊車を挿入した状態でレールをかたむけると、吊車が落下してしまうおそれがありますので、レールを取り付ける際は平行にして取り付けてください。
- ・木くずやゴミなどが付着しないように注意してください。



※必ず同梱のビスを使用してください。

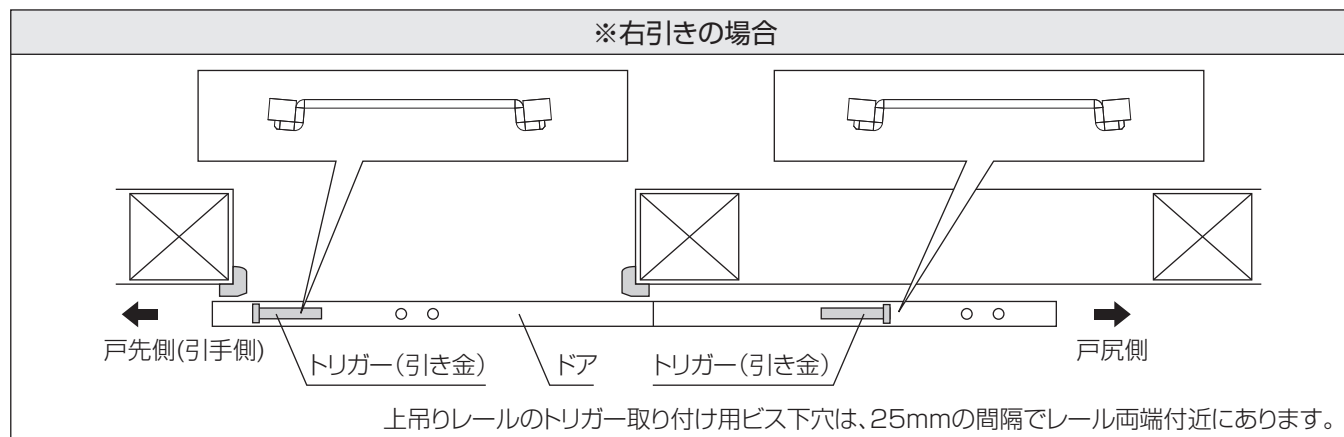
⑥トリガーの取り付け

4ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参考に、 $\phi 4.5$ トリガー用のビス穴にトリガーを同梱のビスで取り付けます。
※ビスを取り付ける前に取り付ける位置に下穴をあけておいてください。

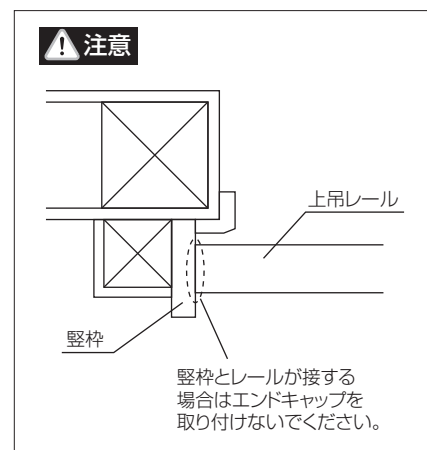
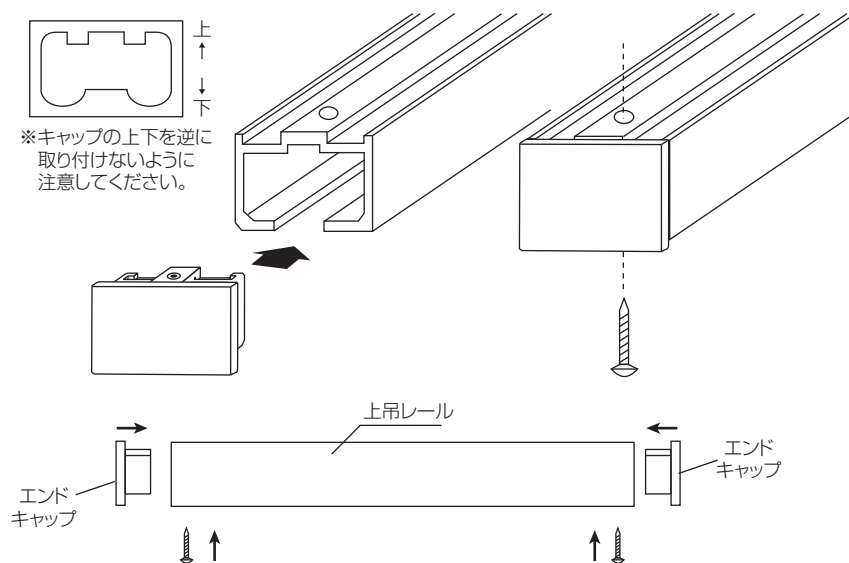
トリガー取り付け位置と取り付け方向

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、
尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

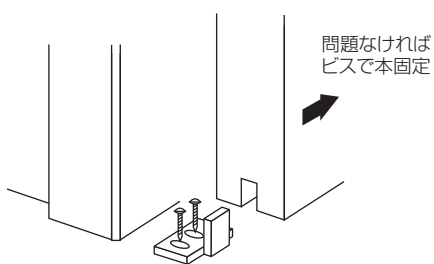
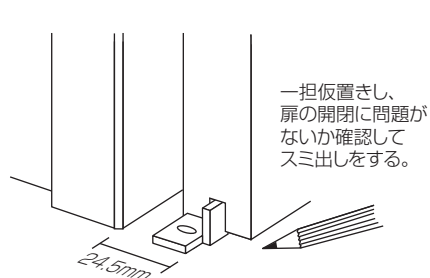
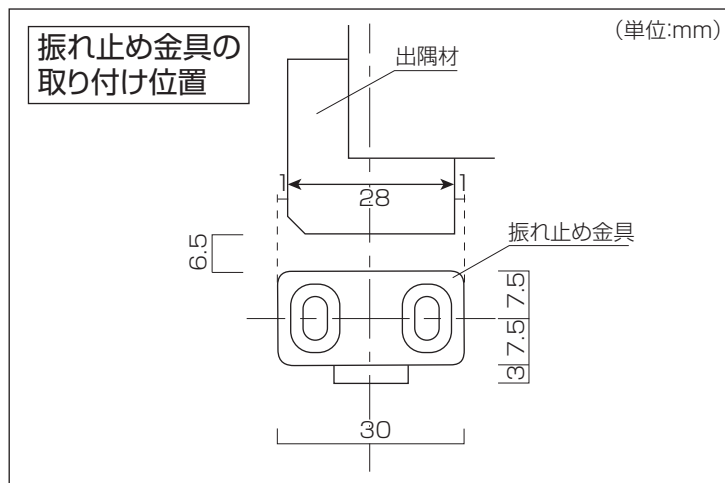
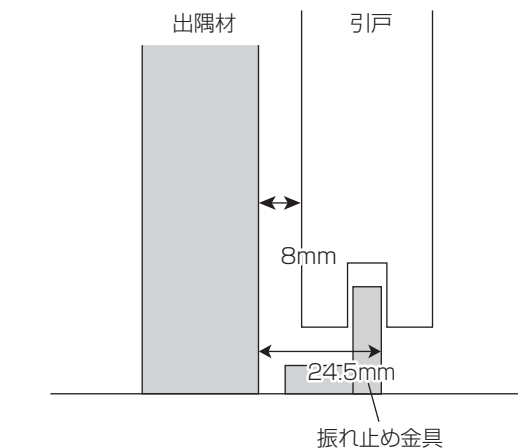


⑦エンドキャップの取り付け



上吊レールの両サイドにエンドキャップを取り付け、
同梱のビスで固定してください。

⑧ 振れ止め金具の取り付け

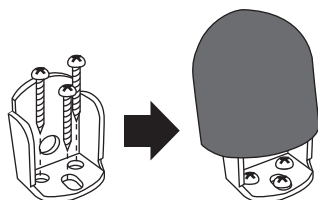


取り付け寸法を参考に振れ止め金具の
取り付け位置を決めてください。
本固定する前に一旦仮置きし、
吊った扉が問題なく作動すること
を確認してから、同梱の取り付けビスで
本固定させてください。

■ 床取り付けストッパーの取り付けについて

戸先側と戸尻側の2カ所の引き戸下に床取り付け
ストッパーを取り付けます。

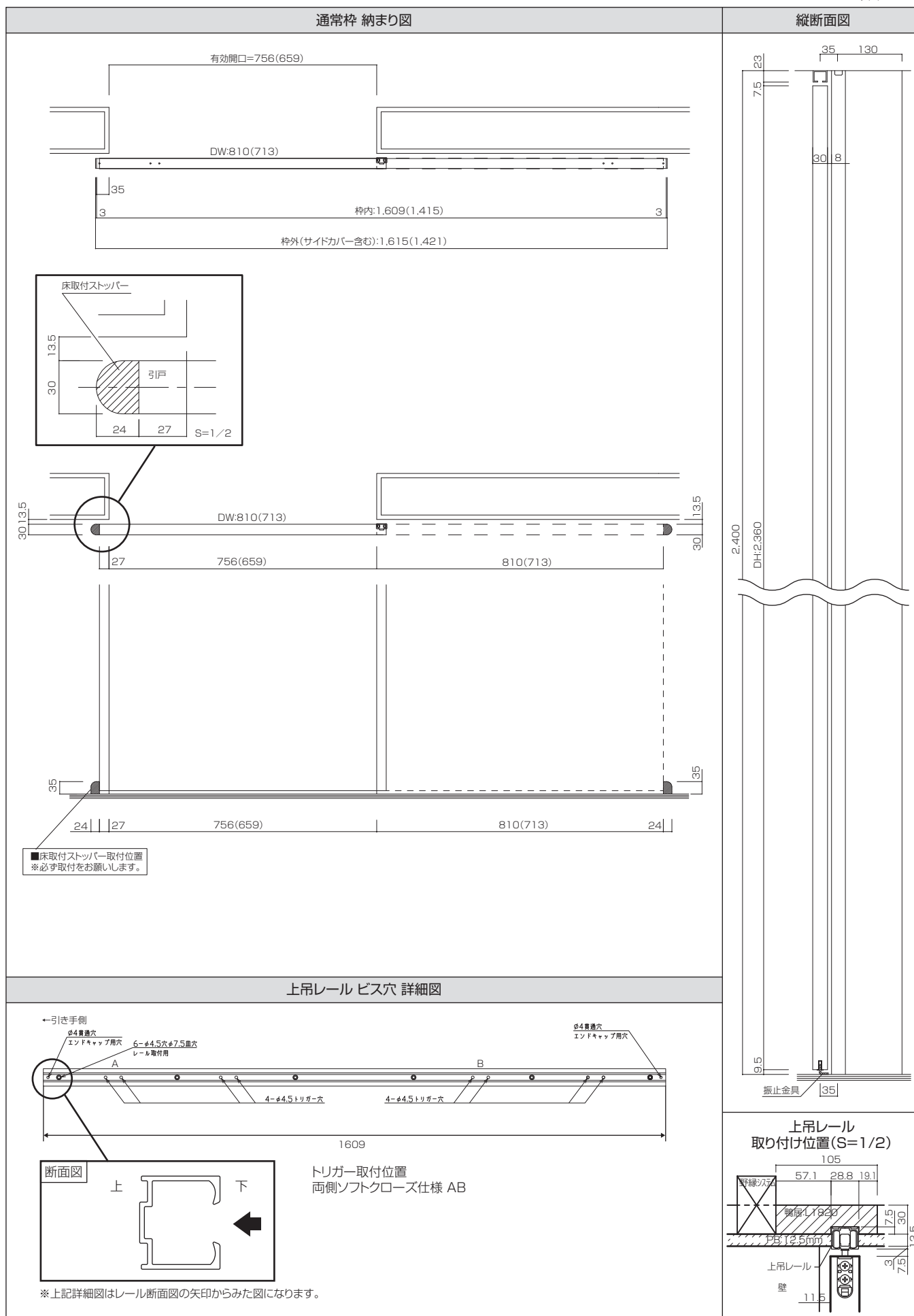
取り付ける場所については、納まり図をご確認ください。



※有効開口標準より狭い場合や
引き残しが必要な場合は、
引き残しストッパーの位置に合わせて
取り付ける位置を調節してください。

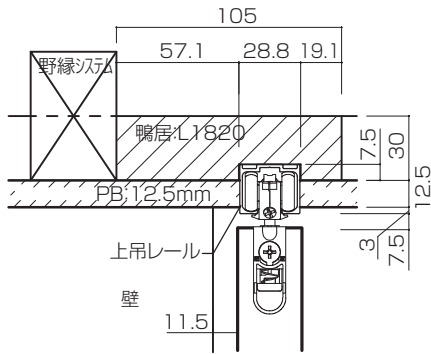
天井下レール取り付けタイプ(ワズキューボ1,500セレクション標準)納まり図

(単位:mm)



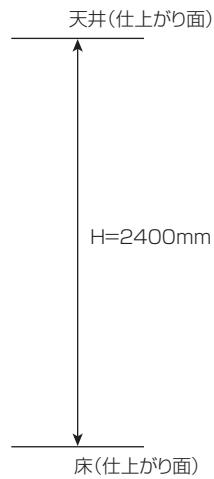
天井下レール取り付けタイプ(ワズキューボ1,500セレクション標準)施工手順

① 天井下地鴨居の位置確認



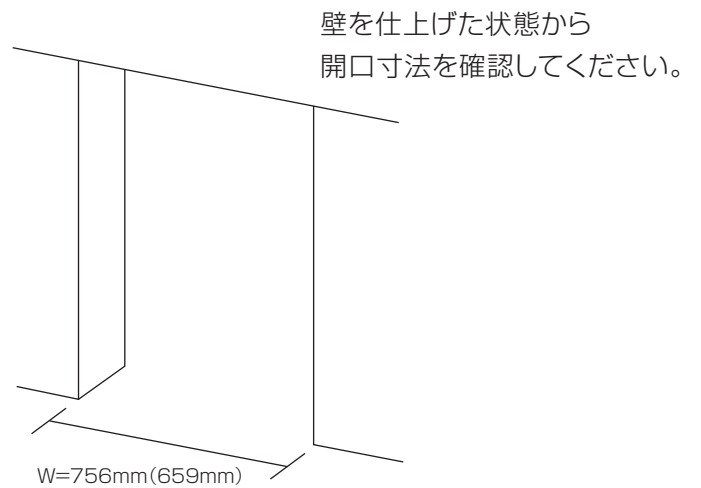
事前に取り付けてある天井下地鴨居の位置を確認してください。

② 間口寸法の確認



注意

扉の高さがH=2360mmになります。天井高がH=2400mmになるように仕上げてください。

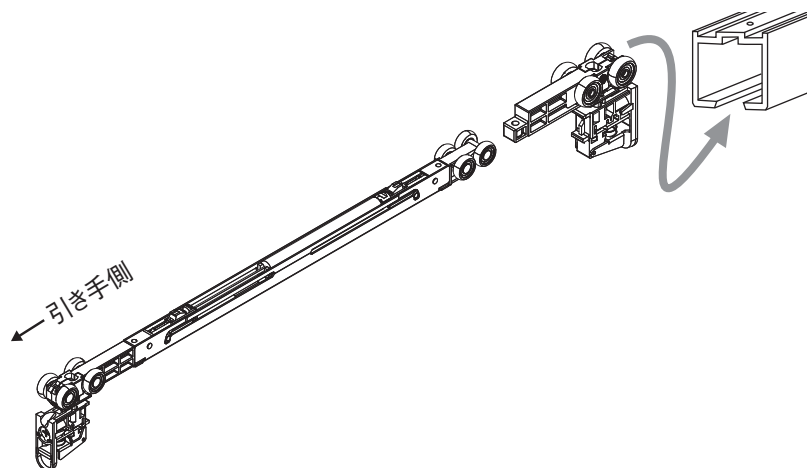


注意

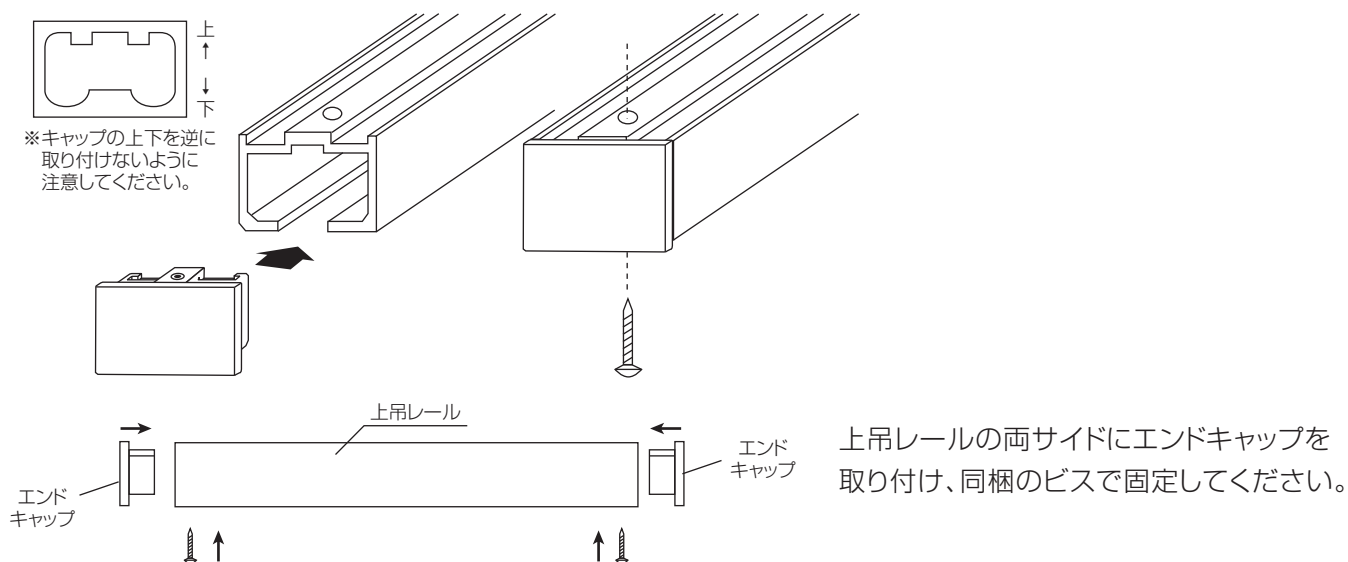
開口寸法(壁が仕上がった状態)がW=756mm(659mm)になります。

③ 吊車の挿入

上吊レールに吊車を挿入してください。吊車は図のように向かい合わせてレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないので注意してください。



④ エンドキャップの取り付け ※天井に埋め込むので先に取り付けます。



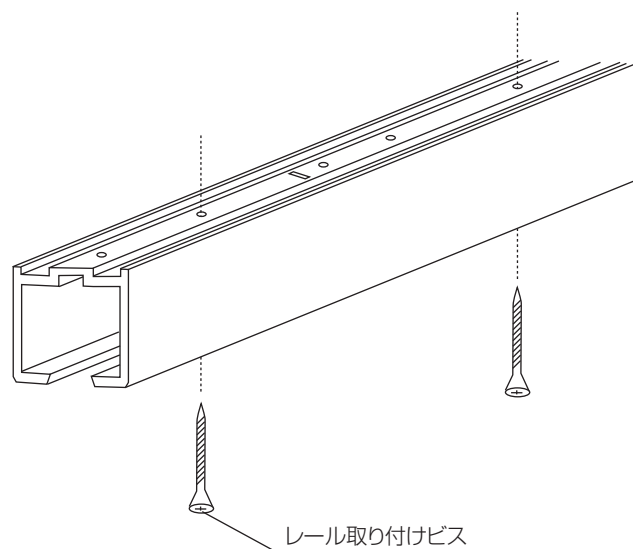
⑤ 上吊レールの固定

天井下地鴨居の溝に上吊りレールをはめこみレール取り付けビスにて固定します。

10ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参照し、 $\phi 5.5$ レール固定用のビス穴に同梱の取り付けビスで6ヵ所確実に固定させてください。
※ビス穴を取り付ける前に下穴をあけておいてください。

⚠ 注意

- ・吊車を挿入した状態でレールをかたむけると、吊車が落下してしまうおそれがありますので、レールを取り付ける際は平行にして取り付けてください。
- ・木くずやゴミなどが付着しないように注意してください。



※必ず同梱のビスを使用してください。

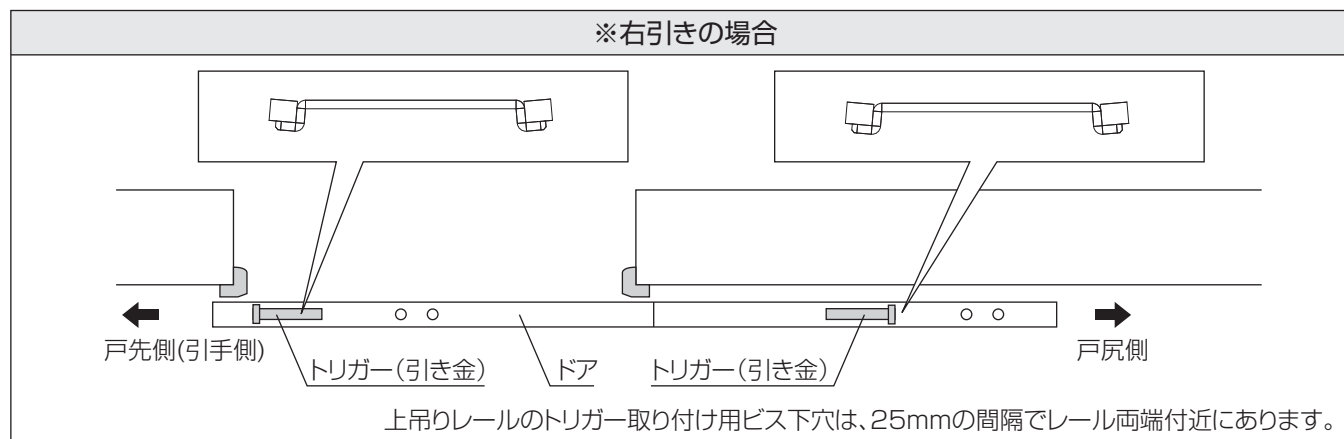
⑥トリガーの取り付け

10ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参考に、 $\phi 4.5$ トリガー用のビス穴にトリガーを同梱のビスで取り付けます。
※ビスを取り付ける前に取り付ける位置に下穴をあけておいてください。

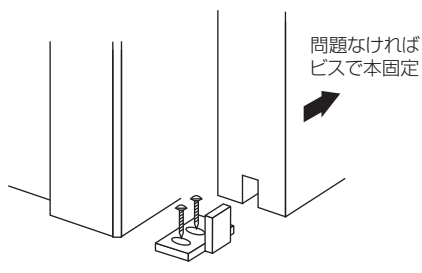
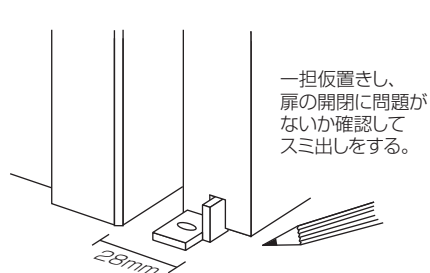
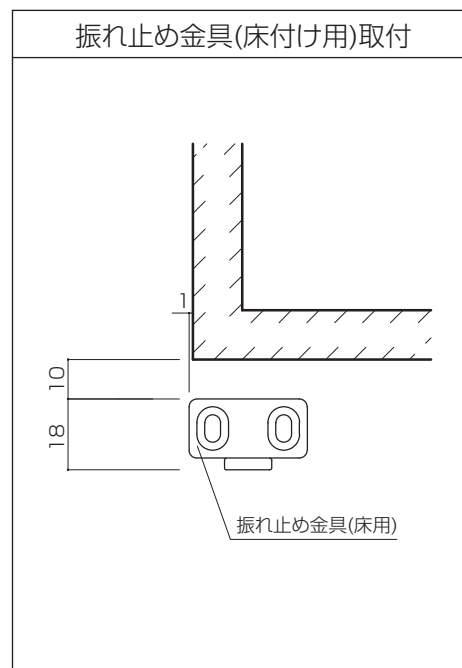
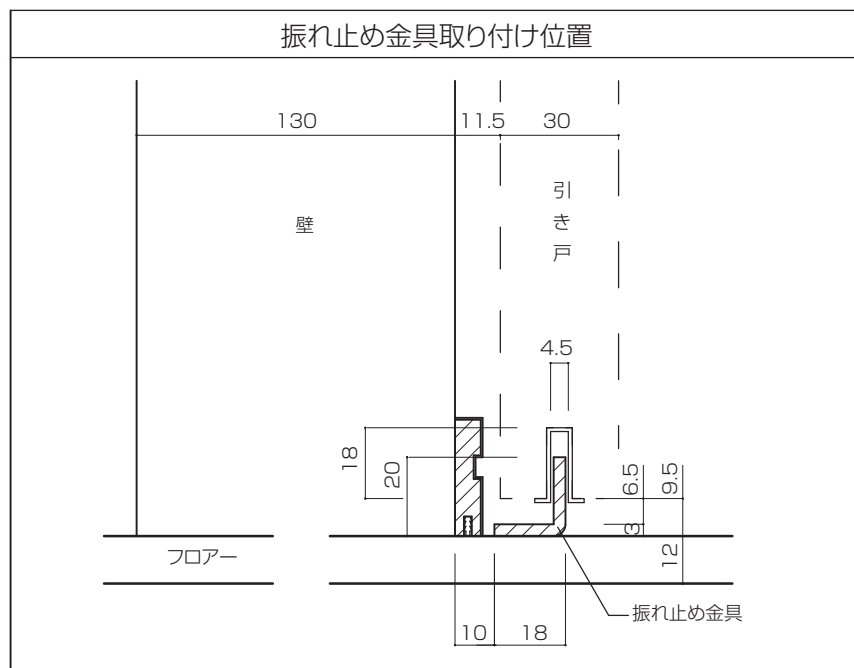
トリガー取り付け位置と取り付け方向

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、
尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



⑦振れ止め金具の取り付け

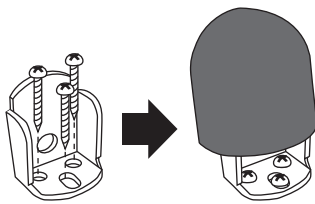


取り付け寸法を参考に振れ止め金具の取り付け位置を決めてください。
本固定する前に一担仮置きし、
吊った扉が問題なく作動することを確認してから、同梱の取り付けビスで
本固定させてください。

■床取り付けストッパーの取り付けについて

戸先側と戸尻側の2カ所の引き戸下に床取り付けストッパーを取り付けます。

取り付ける場所については、納まり図をご確認ください。



※有効開口標準より狭い場合や
引き残しが必要な場合は、
引き残しストッパーの位置に合わせて
取り付ける位置を調節してください。

施工終了後

■養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

■お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

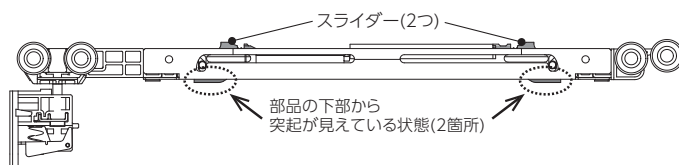
ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。

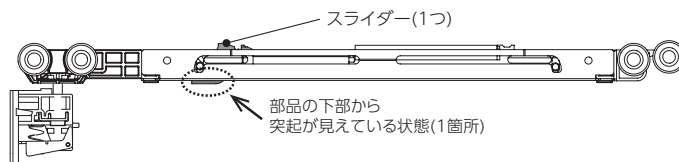
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けてください。

正常状態

両利きタイプ



片利きタイプ

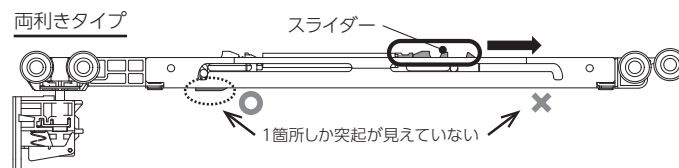


※片利きタイプは
スライダーが「左側」にしか
ありません。

エラー状態

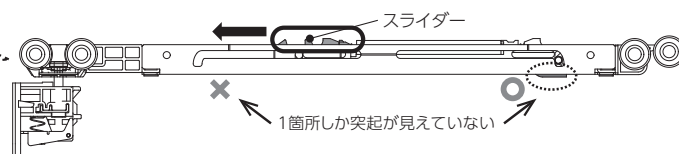
「カチッ」と音がするまで
スライダーを引っ張ると
「正常状態」になります。

両利きタイプ



片利きタイプの 場合

※両利きタイプと動作は一緒です。
イラストは一部異なりますが、
右図と同じようにスライダーを
動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。